

事業者の皆さんへ

新本庁舎建設工事
下請け採用面接会
を行います

新本庁舎建設は、地域経済の活性化と市内産業の育成の機会となります。そこで市内業者の皆さんを対象に、工事請負者による下請け等の採用面接会を開催します。

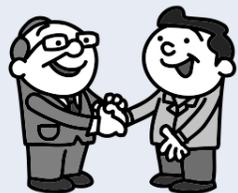
- 日時
平成 25 年 4 月 16 日 (火)
午前 9 時～午後 5 時
- 場所
豊科交流学習センター「きぼう」
2 階多目的交流ホール
- 対象
市内に本社がある事業所、および個人事業主
- 下請け内容
新本庁舎建設工事に関連した資材、物品の販売、工事関係者への食事等の提供、清掃業務など
- 持ち物
技術力や実績を示す資料および名刺など連絡先が分かるもの
- 申し込み
事前申し込み不要
- 面接者
前田・岡谷特定建設工事共同企業体

※注意事項

面接会は、工事請負者と下請け希望者との交渉の場を提供するもので、市が本工事の下請けを保証するものではありません。

本庁舎内建設推進課

☎71・2000 (代) ☎71・5000



インタビュー INTERVIEW

災害に対応できる庁舎に、とても安心感が持てます



おびなた まさのぶ
帯刀 政信さん
(三郷小倉)

農業をしながら消防団の活動をしています。東日本大震災の例もあり、災害に対応できる庁舎ができることは、大切なことで、とても安心感が持てます。私は車の運転ができますが、本庁舎が遠くると、車で出掛けられない高齢者が多いと思うので「あづみん」などの公共交通の充実にも配慮して欲しいと思います。本庁舎には市の職員が集まるといいます。特に若い職員の皆さんには地域振興などのイベントなど、部署の枠を超えて新しい発想で企画してもらえたらと期待しています。

無駄をなくして、教育、子育ての充実を期待します



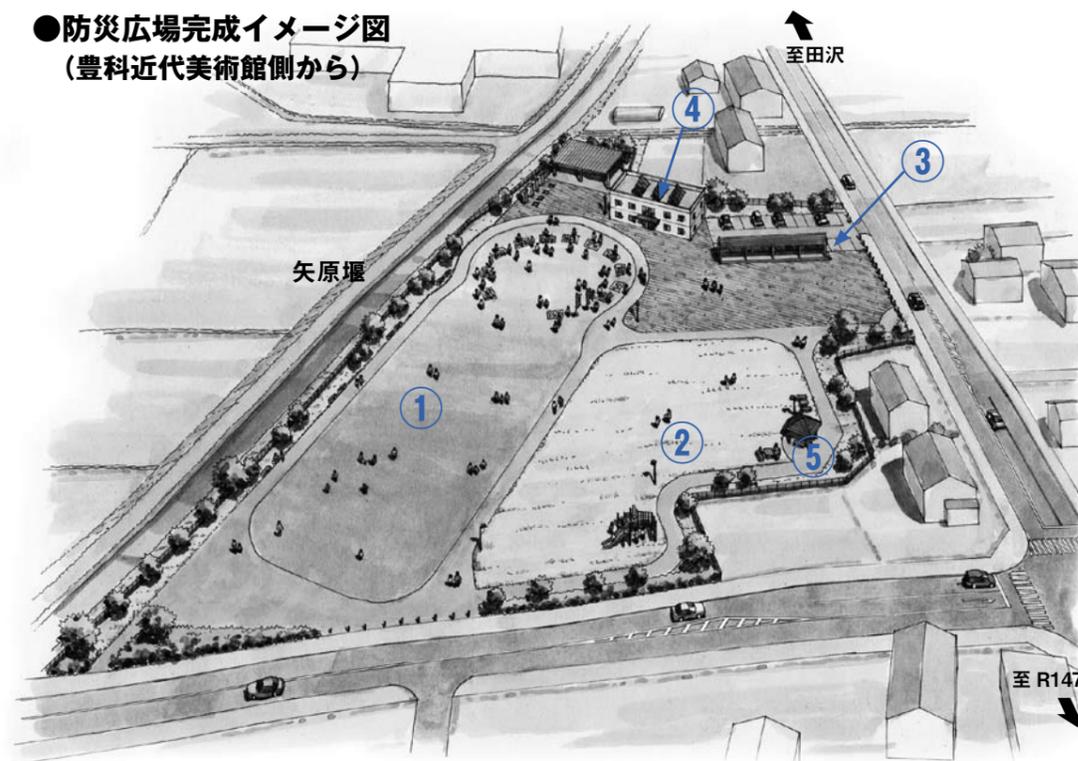
あおやぎ よしこ
青柳 良子さん
(豊科田沢)

小学生の子どもがいます。子どものサッカーの保護者会役員を務めています。以前、武蔵野市との交流大会を行った際、本庁舎や教育委員会へ必要な手続きに出掛けました。その時、庁舎が分かれており、分かりづらく、とても不便だと感じました。庁舎が一つになることで、こうした不便が解消されることは良いことですね。いろいろな無駄をなくして、その分、教育や子育てなどの事業が充実することを期待しています。

防災広場

災害時には設備を備えた一時避難所などとして、平常時には市民が集う憩いの場として整備します。

●防災広場完成イメージ図
(豊科近代美術館側から)



防災設備の例



防災広場・多目的広場のイメージ
(写真は南部総合公園)

本庁舎建設に合わせて旧豊科プール跡地(約1.2ヘクタール)に防災広場を整備します。用地買収費を含む全体事業費は5億9000万円です。この施設は本庁舎に設置される市の災害対策本部を補完する災害対策の支援拠点になります。また、平常時は市民の皆さんが集う憩いの場として整備します。

②多目的広場
芝生の広場で、平常時には市民の皆さんが自由に使える憩いの場となります。また、災害時にかまどとして使える「かまどベンチ」などの設備を設置し、防災訓練、防災教育の啓発の場としても利用できます。災害時には、一時避難者の救護所やボランティアの活動場所になります。

③常設の駐車場
災害時には支援物資の受け入れ場所として利用します。

④管理事務所
平常時には、消防団本部などが入るコミュニティ消防センターとして利用します。一時避難者の備蓄品倉庫や常設トイレを備えています。災害時には、災害対策本部からの連絡場所、ボランティアセンター、事務所前を各種物資等の収集、配給場所として利用します。

⑤園路
健康遊具を備えるほか、ジョキングコース、散策路として利用します。